

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/25】

この試合のプレー集計

男子Cリーグ戦
大垣市水球クラブ

12

3	－	1
4	－	1
2	－	1
3	－	4

 7 沖縄県選抜

審判： PSO
御崎 智徳
縄井 裕平

大垣市水球クラブ	22	SH数	20	沖縄県選抜
	4	速攻数	0	
	8	ST・SB	6	
	4	SH・P誘発アシスト	2	
	42%	GK阻止率	20%	
	6	EX反則数	6	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

決勝トーナメント進出をかけた一戦。

【1P】

センターボールからの大垣攻撃で退水を誘発して、そこを②池田が決めて大垣が先制点をマーク。対する沖縄も退水プレーで⑨比嘉が取り返し、序盤から点の取り合い状態に。大垣のディフェンスが徐々に安定し始めると、チャンスは大垣に傾き始め、攻撃の流れの中で③中野、⑥加藤が連続得点して、大垣3－1沖縄で第1ピリオド終了。

【2P】

大垣がペースを握り、センターボールからの攻撃でセンターで退水を誘発して④小野のシュートで3点差。さらにタイミングよくセンター⑩野村にボールが入って、5点目。続いて②池田、⑩野村と得点ラッシュ(大垣7－1沖縄)。沖縄がセンター⑤仲島が決めて、ようやく流れを止めた形となった。やはり、大垣ディフェンスが沖縄を上回っていて、大垣は余裕をもって試合の流れをつかんだ状態で第2ピリオド終了(大垣7－2沖縄)。

【3P】

このピリオド、2分間の攻防が続いたが、沖縄⑤仲島がミドルSHを決めて4点差に戻したが、大垣も⑥加藤が決めて5点差に。このあたりで沖縄には緊張の糸が切れてきた様子で、大垣⑩野村に9点目を許し、沖縄ベンチはタイムアウト。しかし士気は上がらず、大垣9－3沖縄で第3ピリオド終了。

【4P】

前のピリオド終了時に沖縄が奪った退水プレーを継続すべく、必死に泳いでセンターボールからの攻撃で④比嘉が決めて沖縄4点目。しかし、大垣はゲームの主導権を渡さず、②池田がミドルレンジから決め、さらに直後の沖縄シュートミスを突いて④小野がペナルティ誘発で連続加点。その後、沖縄も懸命に粘り、④比嘉がペナルティを取返してこの試合4点目をあげると、さらに⑤仲島、②松田が連続得点で懸命に追い上げた。しかし、最後は退水を喫してしまい、大垣⑨大橋がダメ押し点をあげて、大垣が決勝トーナメント進出となった。

実はこの試合、大垣側としては点差をつけて沖縄に勝利し、ブロック1位での決勝トーナメント進出も同時並行の状態。おそらく大垣ベンチは強豪の石川との準決勝での対戦を回避すべく、ブロック1位通過を回避したのではないかと思われる第4ピリオドの展開であった。最終的には大垣12－7沖縄と5点差の勝利となった。6点差以上であれば1位通過だったが、ブロック1位は群馬。大垣はブロック2位での決勝トーナメント進出となった。